


乳幼児とふれあう — 保育体験をしてみよう —

プログラムのねらい

異世代と交流する機会の少ない高校生が、親になる前に子どもとふれあう体験をすることは、子どもを理解する上で重要なことです。このプログラムでは、高校生が遊びなどを通して子どもとふれあうことにより、子どもとの適切なかわり方について学習します。

【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介します。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。  <ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク1」の資料を用い、子どもとふれあう上で注意することを確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○ワーク1について理解できるように具体的な例を出し、ポイントを押さえて説明します。 ○事故防止には十分注意するように話します。 ○導入で時間をとりすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介や手遊びを行い、明るく交流しやすい雰囲気づくりをします。 ◎今日は高校生のお兄さんやお姉さんと一緒におもちゃを作りましょう。わからないことはどんどん聞いて下さいね。 ○おもちゃ作りの時間を設定します。 ○できあがったおもちゃで遊ぶ時間を設定します。 ○好きな遊びをする時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の中には、うち解けない子や戸惑っている子もいます。明るく声がけをし、参加を促します。 ○高校生には、積極的にかかわるように話します。その際、子どもたちの様子をよく観察しながらふれあうように話します。 ○会場を回り、乳幼児と高校生の様子を観察します。事故につながる行為については、その場で注意します。 ○高校生には、積極的にかかわるように話します。その際、子どもたちの言葉に耳を傾けるように話します。 ○会場を回り、乳幼児と高校生の様子を観察します。 ○必要に応じて、子どもたちがけがをしないよう配慮するように話します。 ○高校生には、積極的にかかわるように話します。その際、子どもたちの様子を観察するように話します。

	○後かたづけの時間を設定します。	○会場を回り、乳幼児と高校生の様子を観察します。 ○後かたづけをしっかりするよう話します。
まとめ 10分	◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 ○発表してもらいます。	○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の生徒に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○今日の乳幼児とのふれあい体験を通して、高校生たちに今までの成長を振り返らせるとともに、子どもとのかかわり方について考えさせまとめます。

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2を中心に流れを考えるようにします。

